

佐久穂町内でクビアカツヤカミキリによる被害が確認されました

クビアカツヤカミキリは環境省により特定外来種に指定されており、サクラ・ウメ・モモ・ハナモモ・プルーンなどのバラ科樹木を食い荒らして枯らしてしまいます。佐久穂町でも8月10日に町内で成虫の雌の死骸が初めて確認されました。その後、海瀬地域を中心に、幼虫が樹皮に穴を開けて樹木内部を食い荒らす際に発生するフラス（木屑と糞の混合物）が確認されました。

対策を講じないと被害は拡大し、佐久穂町の特産品であるプルーンや身近なサクラ、ウメ、ハナモモにも大きな被害が生じるおそれがあります。

クビアカツヤカミキリ成虫の特徴



（長野県のホームページから）

※成虫の運搬は法律で禁止されています。

- ・発見した場合は被害拡大を防ぐため、その場で駆除してください（薬剤の使用や踏みつけなどを行います）。
- ・体長：約2.5～4cm程度
- ・全体に光沢のある黒色の体
- ・赤い胸部（首の部分）にコブ状の突起がある
- ・腹側は黒色で、触角を立てて歩く
- ・強い臭いを放つ液を分泌する
- ・成虫の発生時期は6～8月頃

成虫やフラスを発見した場合は、このQRコードからも連絡できます。



幼虫による食害の状況



幼虫は侵入した樹木からうどん状のフラスを排出し、樹木内部で2～3年かけて成長し、さなぎになります。

成虫は木の根元から、らせん状に卵を産み付けることもあり、木の根元から、太枝の周りにかけて被害が発生します。

被害木は薬剤注入による駆除が必要となります。

ご家庭では庭や農地などの状況を確認してください。

成虫やフラスを発見したときは下記担当係またはQRコードからご連絡ください。

農地以外
農地

住民税務課生活環境係
産業振興課農政係

☎0267-86-2552
☎0267-86-2529